

# 2010年9月20-21日 日産クリエイティブサービス 「図で考える人は仕事ができる」 アンケート

図形で仕事の大きさや売り上げの大小、力量の違いが分かるのが大変参考になった。

経営とはコミュニケーション。改めて、その必要性、重要性を認識させられた。

今まで作っていた提案資料などがいかに伝わりにくい文章中心のものであったか思い知った。

文書はその場限りだが、図解は進化することが分かった。中計を、図解に置き換えて作成してみたい。

図解するということは、表現したいことを整理できるツールであることを実感しました。

他部署の業務がおぼろげではあるが分かってきた。業務の本質が自分自身で理解出来ていないと図解することが出来ないということが分かった。

今回、大きな発明でありました。

図を描くうちに頭が整理され、自分の役割・立ち位置・課題が明確になった。深い分析が出来ると実感。

図は、頭の整理ができる有効ツールと感じた。また、相互F/Bや先生からのF/Bは極めて有効で、気づきを与えて頂いた。時間をかけて一人一人のアドバイスは大変有り難い。

図解で書くことにより、自分の仕事の中身を再発見することができた。業務整理が頭の中で出来た気がした。

有意義でした。私の仕事に関しては、全体的にもう少しリアリティを増す方向で見直したいと思います。又、会社への貢献についても、アピールを加えたいと思います。

「鳥の目」「虫の目」その融合とする上での図解の難しさは、「何を相手に伝えたいか」「相手を訴求するものは何か？」が原点にあることが判明していない事によって生じていることが分かった。図解はまさに目的ではなく考え方であるのが分かった。2日目の演習で一層クリアになった。部下との対話には図解を入れる。プレゼンの図解には、目的、タイトルをはっきりさせる。図解をしたものを共通図として常にopenで見える状態にする。 目的に応じた図解のテクニックを日々学習していきたい。

頭を駆使したことでものすごい疲労感をおぼえた。

自分の仕事について集中的に見つめ直すことができました。自分の仕事がいかに簡単なモノか安心することができた。

図にすると、何が必要か明確となる。

図解することで自分の考えが想像以上に整理できた。

図解すると、物事が理解しやすくなることを実感した。今後の自分の業務に非常に役立つものと感じた。

図を描くことを楽しみながら役立つ教育でした。自分の仕事との関係を理解することができた。今後、わかりにくい課題には図解で考えたい。

図を主体とした書類作りは、大変新鮮な印象であり、今後実務の中で活用できると思った。過去の教育の場だけの教育に終わらないと思う。高い視点から見る大切さ及びその気づきのイメージがつかめた。

図解していると色々なアイデアや気づき生まれる。他の人の発表を見て、ヒントになることが見つかった。他部署の業務内容の理解が深まった。

図で考える思考の発見・認識は今後の仕事に役立てると思う。

説明は合理的、演習は具体的で有意義な研修だった。

他人の描いた図が様々な切り口・レイアウトで書かれており、図を描くことで論議に広がりを出せることを実感した。

自分の仕事の中身また立ち位置が理解できた。他部署のことを考えている偏った見方であった。

様々なパターンの図解を確認することが出来て自分自身のボキャブラリーの無さを痛感した。様々な案件を関連づけて図解で説明するように努めたい。この研修で、広い視野で日常業務を見直す機会になりました。